

2011年度

科目名	社会福祉援助技術論 I				
担当教員	畠中 義久、農野 寛治				
配当	教福2(4213)		コード	23057	
開期	通年	講時	火曜日3限	単位数	4
授業テーマ	ソーシャルワーク実践のための基礎的な知識と技法を理解する。				
目的と概要	社会福祉実践の現場での生活問題への支援のために用いられるソーシャルワークについての理論を理解し、その基本的な技法について、演習も交えて習得することを目的としている。				
成績評価法	受講態度・筆記試験・演習参加姿勢など、総合的に評価する。				
テキスト	新・社会福祉士養成講座 6 相談援助の基盤と専門職 社会福祉士養成講座編集委員会 中央法規				
参考書					
履修に当たっての注意・助言/準備学習	〈履修に当たっての注意・助言〉演習への参加を期待するので、ぜひ積極的に授業に取り組んで欲しい。 〈準備学習〉他者とのコミュニケーションを意図的にとる演習が含まれるが、毎回の授業の中で、日頃の生活において、他者と関わる中での留意点について説明するので、ぜひ心がけて日頃の実践を試みてもらいたい。また私たちの生活問題に関する意識も高めてもらいたいので、授業の中で話題に取り上げた問題について、自身でも新聞やインターネットにより情報を集めて、より理解を深めてもらいたい。				
講義計画					
1) 社会福祉援助技術の歴史（1） ソーシャルケースワークの成立 2) 社会福祉援助技術の歴史（2） ソーシャルワークの諸モデル 3) 対人援助技術の基礎（1） 自己覚知「観る一観られる関係」 4) 対人援助技術の基礎（2） Social work interview とは何か？ Communication 5) 対人援助技術の基礎（3） Social work interview とは何か？ Non-verbal Communication 6) 対人援助技術の基礎（4） Social work interview とは何か？ 面接の構造 7) Social work interview の技法（1） 面接を展開する技法 8) Social work interview の技法（2） 面接を深める技法 9) Social work interview の技法（3） 援助関係の構築 10) Social work における記録の取り方 11) 社会福祉援助技術の歴史（3） ソーシャルグループワークの成立 12) グループワークの構成要素とプロセス 13) グループワークの援助媒体と技法 14) Social Skills Training 社会生活技能訓練 15) 権利擁護とアドボカシー 16) 社会福祉援助技術とは何か・古典的ソーシャルワークからジェネラリストへ 17) 専門職としてのソーシャルワーカー 18) 相談援助職の倫理 19) 生活問題の包括的理解／社会システム理論・生態学の考え方 20) 包括的理解と実践の視座／エコロジカルマップ 21) 相談支援の手順・ソーシャルワークの援助過程 ①インテークとエンゲージメント 22) 相談支援の手順・ソーシャルワークの援助過程 ②アセスメントとプランニング 22) 相談支援の手順・ソーシャルワークの援助過程 ③インターベンション・モニタリング・エバリュエーション・ターミネーション 24) 総合的かつ包括的な相談援助における専門機能 ①予防機能 25) 総合的かつ包括的な相談援助における専門機能 ②新しいニーズへの対応機能 26) 総合的かつ包括的な相談援助における専門機能 ③総合的支援機能 27) 総合的かつ包括的な相談援助における専門機能 ④権利擁護機能 28) 総合的かつ包括的な相談援助における専門機能 ⑤社会資源開発機能 29) さまざまな実践場所とソーシャルワーカーの役割 30) ミクロ・メゾ・マクロの展開					